

令和5年度 全国学力・学習状況調査結果について

1 実施日 令和5年 4月18日（火）

2 調査対象 第6学年児童16名

3 調査内容

(1) 教科に関する調査（国語、算数）

- ① 身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

(2) 児童質問紙調査（学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査）

4 調査結果

(1) 教科に関する調査

国語は、全国平均を上回りました。
算数は、全国平均を上回りました。

(2) 児童質問紙調査

成果が見られた項目

- 学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか。
- 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどのくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）。

課題が見られた項目

- 将来の夢や目標を持っていますか。
- 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどのくらいの時間、読書をしますか（電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）。

5 学力向上の取り組み

今回の調査結果では、国語科においては知識及び技能における情報の扱い方に関する事項、算数科においてはデータの活用領域に課題が見られました。本校では今後、次の2点について重点的に取り組んでいきます。

- ・ 国語科で話を聞いたり文章を読んだりする際は、原因と結果など情報と情報との関係について検討する活動、パンフレットなどの資料を読む際は複数の語句を丸や四角で囲んだりして図示することによって情報を整理する活動を意図的・計画的に取り入れていく。
- ・ 算数科で表やグラフの特徴及びそれらの用い方について理解を確実なものにしていく一方、目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目して、問題の結論を判断するような学習活動の充実を図っていく。

6 保護者の皆様へ

児童の学習環境・生活環境づくりについて、次の点で家庭や地域の方々のご協力をお願いします。

- 読書について
 - ・ 家庭で読書する習慣づくり、親子読書の推進
- 地域行事等への参加
 - ・ 多くの人とのふれあい